



県大会で優秀賞に輝いた藤井万希子さん

藤井万希子さん(小野中3年)が優秀賞受賞 第36回少年の主張福島県大会

福島県青少年育成県民会議(会長・福島県知事)主催の第36回少年の主張福島県大会が9月29日、矢吹町文化センターで開かれました。

これは、多感な中学生が日頃考え感じていることを広く社会に発信することにより、同世代の青少年が社会の一員としての自覚を持ち、併せて大人の理解と協力を深めることを目的として行っているものです。

この大会には、県内から15,404人の応募があり、各市町村の青少年育成会議から推薦を受けた121人が県の作文審査に臨みました。

作文審査の結果、本大会での発表者16人に藤井万希子さん(小野中3年)が選ばれ、『『福島』を伝える』と題した素晴らしい主張を発表し、審査の結果、優秀賞の栄誉に輝きました。

ここに藤井さんの栄誉をたたえ、発表された「少年の主張」をご紹介します。(次ページ)

5人の作品が優秀作品に決定

郡山広域消防組合 防火標語 火災予防絵画・ポスターコンクール



左から絵画・ポスターコンクール最優秀賞の柳沼凜さんの作品、優秀賞の吉田悠加さんの作品、優良賞の村上茉奈美さんの作品

郡山地方広域消防組合で募集した防火標語と、火災予防絵画・ポスターコンクールの優秀作品が決定し、小野町から5人の方の作品が選ばれました。

最優秀賞に選ばれた作品は、今後1年間、ポスターなどで火災予防の啓発活動に活用されます。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

◆私たちの防火標語

【火災予防部門】

最優秀賞 大和田菜桜(新町小5年)

『こわいのは 消したつもりと 人まかせ』

優良賞 長久保絢子(小野中1年)

『危険です 火をつけたままの 長電話』

◆火災予防絵画・ポスター

【火災予防部門】

最優秀賞 柳沼 凜(夏井一小6年)

優秀賞 吉田 悠加(新町小6年)

優良賞 村上茉奈美(新町小2年)